

《 姫路東高校の一押し本100選 》 一部紹介します！！

著者名	書名	内容・推薦者コメント
佐藤修一	世界を変えた数学	数学の歴史を詳細なイラストなどを使って紹介。数学者たちの努力によって築かれた数学の歴史に触れよう。
志賀直哉	城の崎にて	三つの小さな生き物の死を見守りながら自身の死や運命を考える心境小説。淡々とした表現なのに、リアルに想像できて、世界に浸れる。
重松清	きみの友だち	短編小説集だが、それぞれの話につながりがある。さまざまなタイプの人物が登場する。友達のあり方の違いに気づかされた。
重松清	卒業ホームラン	少年野球チームに所属し、努力しているのにも補欠の智と、その父親で、チームの監督でもある徹夫の物語。「努力」がテーマ。
篠田達明	徳川将軍家十五代のカルテ	歴代将軍を最新医学で診断してみると、史実には顕れない素顔が見える。ややこしい徳川家の系図と日本の歴史が理解しやすい。
司馬遼太郎	坂の上の雲	秋山兄弟と正岡子規が、時代の風を受け、夢を大きくふくらませていく。明治という激動の時代に生きた若者たちの姿を見てほしい。
司馬遼太郎	菜の花の沖	江戸後期、淡路島に生まれた高田屋嘉兵衛は、偉大な商人に成長していく。数奇な運命を生き抜いた主人公から強さを学んだ。
ショーン・コヴィー	7つの習慣ティーンズ	人生に関わる決断を迫られながら、多くの悩みをどのように乗り切っていくか。今までの自分を深く反省し、勉強になった。
鈴木光司	エッジ	世界各地で失踪事件が相次ぎ、円周率に「0」が連続して出現するなど、未曾有の事態が近づきつつあった。文系の私でも夢中になった。
瀬尾まいこ	温室デイズ	中学生のみちるが、崩壊していく学校を少しでも良くしようとする。間違っていることに慣れてはいけない。みちるのように強くなりたいと思う。